

製品名: NRBF-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14885**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	36kDa

抗原情報

遺伝子名	NRBF2
別名	NRBF2; COPR; Nuclear receptor-binding factor 2; NRBF-2; Comodulator of PPAR and RXR
遺伝子 ID	29982.0
SwissProt ID	Q96F24
免疫原	抗血清はヒト NRBF2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 140-189

背景

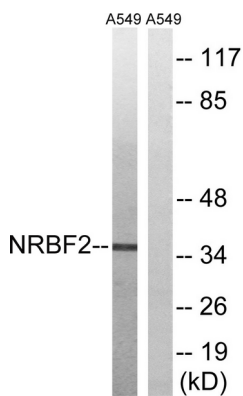
機能: 標的核内受容体による転写活性化を調節する可能性があります。転写活性化因子として作用する可能性があります (in vitro)。サブユニット: PPARA、PPARD、PPARG と相互作用します。結合したリガンドの存在下では、RARA、RARG、RXRA と相

相互作用します。組織特異性：ケラチノサイト、肝臓、胎盤で検出されます。機能：標的核内受容体による転写活性化を調節する可能性があります。転写活性化因子として作用する可能性があります (in vitro)。サブユニット：PPARA、PPARD、PPARG と相互作用します。結合したリガンドの存在下では、RARA、RARG、RXRA と相互作用します。組織特異性：ケラチノサイト、肝臓、胎盤で検出されます。

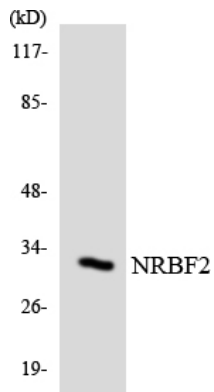
研究分野

-

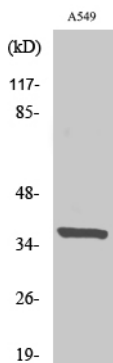
画像データ



NRBF2 抗体を用いた A549 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



NRBF2 抗体を使用した RAW264.7 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



NRBF-2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析